

平成30年度第1回南知多町総合教育会議 議事録

開閉会の日時	平成30年 9月20日(木) 午後 2時40分 開会 午後 5時10分 閉会
開催場所	南知多町役場 図書会議室
出席した構成員	石黒和彦町長 大森宏隆教育長、大岩芳子教育長職務代理者、池戸義久教育委員、 日比淳子教育委員、坂口薫史教育委員、折戸良直教育委員
説明のため出席した職員	田中嘉久企画部長 山下雅弘教育部長兼学校教育課長、森 崇史社会教育課長、 宮本政明学校給食センター所長、蟹江敏広指導主事、 鈴木和芳学校教育課学校教育係長、内田静治学校教育課職員
会議日程	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
傍聴人	2人

(別 紙) 平成30年度 第1回南知多町総合教育会議 会議日程

日 時 平成30年9月20日(木)
午後2時40分～
場 所 南知多町役場 図書会議室

1 町長あいさつ

2 協議・調整事項

(1) 小中学校・普通教室への空調設備設置計画について

(2) 小中学校の適正規模・適正配置について

(3) 新学校給食センター整備基本計画(案)について

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>それでは、ただ今より、平成30年度第1回南知多町総合教育会議を開会させていただきます。教育委員の皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>さて、本日の会議は、私・町長と教育委員の皆さんが、円滑な意思疎通を図り、本町の教育に係る課題や目指す姿等を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、平成27年度より設置させていただいているところでありまして、忌憚のないご意見、ご発言をお願いします。</p> <p>それでは、本日は、3つの協議・調整事項を用意させていただきました。まず、「(1)小中学校・普通教室への空調設備設置計画について」、事務局の説明を求めます。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>(小中学校・普通教室への空調設備設置計画について説明。以下その要旨)</p> <p>これまで小中学校においては、職員室等の管理諸室、コンピュータ室などの一部特別教室に対してエアコン設備を設置してきましたが、普通教室には設置しておらず、扇風機や水分補給など、児童生徒への指導により対応してきました。しかしながら、昨今の夏季の異常な気温上昇に対して、小中学校の教育環境改善に向けた取組みの一環として、全国的に普通教室等への空調設備の設置が進んできています。</p> <p>こうした中、本町においても児童生徒の健康保持の増進及び良好な教育環境の確保のため、小中学校の全普通教室へエアコンを設置することとしました。</p> <p>小学校の普通教室48部屋、中学校の普通教室24部屋について、2020年の夏までにエアコンを稼働させるべく、今後、調査設計・工事を進めていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。</p>
石黒町長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>只今、事務局から説明があった小中学校の普通教室への空調設備設置計画について、ご質問や意見交換をお願いします。</p>
日比教育委員	<p>国の交付金の対象事業ということですが、仮に国の事業採択をいただけない場合でも、エアコンを設置する方針ですか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>ご指摘のとおり国の交付金を財源の一部として、エアコン整備を進めたいと考えていますが、先ほども説明させていただきましたように、</p>

発 言 者	発 言 内 容
池戸教育委員	<p>2020年の夏までにエアコンを稼働させるという目標年次を定めましたので、仮に国の事業採択をいただけない場合でも、町財政部局と協議し予算措置をし整備していくという考えであります。</p> <p>エアコン設置工事は、長期休業期間に施工する予定ですか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>これから設計業務を発注し、国の交付金の採択を待って工事を発注していくこととなりますが、できる限り早くエアコンを設置したいと考えており、したがって工事期間は限られてきますので、音・振動等授業に大きな影響を与える工事は、長期休業期間や土曜日・日曜日に施工することとなると思いますが、それ以外の工事は、学校側と協議しながら平日でも進めさせてもらいたいと考えています。</p>
坂口教育委員	<p>エアコン設置にあたり、温度設定は各校長の判断ということになるのですか。また、エアコン設置により、どのくらい電気料が上がると考えていますか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>今年度、文部科学省の学校環境衛生基準が改正され、教室の望ましい温度の基準について「17℃以上、28℃以下」と見直されました。こうした基準も踏まえ、今後、町教育委員会の方で、エアコンの温度設定を含めた運用基準を定めていきたいと考えています。</p> <p>また、電気料の負担については、エアコンの設定温度やエアコンの機種選定などによっても変わってきますが、現時点での試算として、年間800万円ほど増えるものと見込んでいます。</p>
大岩教育委員	<p>冬期のエアコン利用の考え方はどうなっていますか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>その点は、現時点では、まだ決めていません。今後、ストーブとの費用比較も含め、冬期はストーブ、夏季は扇風機とエアコンとの併用も併せて検討していくことになると考えています。</p>
大岩教育委員	<p>エアコン設置に伴う電気料の負担増やフィルター清掃費など維持管理費用について、継続的な予算確保をお願いします。</p>
田中企画部長	<p>先ほどもご質問をいただきましたエアコン整備に係る財源としての国の交付金への捉え方ですが、これは必ずしも採択が保障されているものではありません。近く、小中学校へのエアコン設置に対応する国</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>の補正予算案が国会に提出されるとも言われていますが、今年度中に、採択を受けられればよいのですが、それがかなわない場合は、来年度の国の当初予算分での採択をめざす。そしてそれも受けられない場合は、2020年夏までのエアコン稼働に間に合わせるべく、町単独で実施する。そのためには来年度の町の当初予算には計上しておかなければならないだろうと考えています。そして、その財源ですが、町債を発行して賄うことになるであろうとも考えています。町債発行は将来負担への積み残しになってしまうとの懸念もありますが、この場合、国の地方交付税措置により支援が受けられるというメリットもあるわけです。</p> <p>エアコン整備に係る物理的な課題のひとつとして、全国的に設置が急務とされているエアコン機器をはたして必要数確保できるかということです。担当の学校教育課には、そうした情報も集めながら、期限までに設置が完了できるよう、発注時期も含め準備を進めてください。</p>
大岩教育委員 事務局 (山下教育部長)	<p>エアコン整備の優先順位の方針はどうなっていますか。</p> <p>現時点では、小学校を優先して整備したいと考えています。 小学校低学年の教室を最優先との考え方もありますが、本町の小学校の学級数を前提にしますと、低学年と高学年の工事時期を分けることは、仮設費用等、工事費の増加だけでなく、工事の効率も悪くなり、結果として、短期間での整備に支障が生じる要因にもなりますので、今後、学校とも相談しながら、発注予定の調査設計業務の中で検討してまいりたいと考えています。</p>
石黒町長	<p>本日、協議・調整しておきたい事項として、普通教室へのエアコン整備予定数、整備方針、整備スケジュールについての協議と課題の共有をお願いしたいということで、議題に上げさせていただきました。</p> <p>他に、ご質問等もないようですが、「小中学校・普通教室への空調設備設置計画について」、只今説明させていただきました方向性で進めることについて、ご異議ありませんか。 (異議なしの声)</p>
石黒町長	<p>異議なしの声をいただきましたので、「小中学校・普通教室への空調設備設置計画」につきましては、総合教育会議で協議・調整された事項として進めさせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>石黒町長</p> <p>事務局 (内田)</p>	<p>次に、「(2) 小中学校の適正規模・適正配置について」事務局の説明をお願いします。</p> <p>(小中学校の適正規模・適正配置について説明。以下その要旨)</p> <p>ご承知のように、子どもの人口が減り続けており、多くの学校が、「義務教育9年間で一度もクラス替えができない」、「やりたい部活動ができない」といった状況の中、子どもたちの教育条件を改善させるべく、学校規模の適正化、学校統合の検討を前進させなければならぬと考えています。</p> <p>そうした検討にあたり、まず、学校規模の適正化に関する基本的な考え方について、共有しておく必要があります。</p> <p>教育基本法に規定されているように、義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎や社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。このため、学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になります。そうした教育を十全に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいものと考えられることから、一定の学校規模を確保することが重要となります。</p> <p>また、学校規模の適正化の検討は、様々な要素が絡む困難な課題ですが、飽くまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行うべきものと考えています。</p> <p>こうした認識にたって、本町の教育に係る課題について検証したとき、まず、人口問題に視点を当ててみますと、本町は高度経済成長期以降、人口が減少し続けており、このままでは今後も人口減少が続くものと思われます。国勢調査等の実績をもとに、国立社会保障人口問題研究所の推計による「合計特殊出生率・生残率・純移動率」を採用して南知多町の人口をシミュレーションしたところ、2010年の20,549人に対し、50年後の2060年には8,032人になることが推計されています。中でも、年少(0～14歳)人口については、2010年の2,203人に対し、2060年には509人と、50年間で1/4以下に減少してしまうことが推計されています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>こうした本町における人口の減少は、働き世代の割合が減る、つまり、税収が減ることだけでなく、医療・介護・社会保障制度が維持できなくなることに伴い、このままですと今の教育が維持できなくなるおそれもあり、その対策が必要となります。</p> <p>本町における学校規模の適正化を検討するにあたり、法令上、学校規模の標準は、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされていますが、「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」ともされています。この「地域の実態・特別の事情」を加味し、また、学級数が少ないことによる学校運営上の課題なども踏まえて検討したとき、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」の「望ましい学級数の考え方」を引用し、小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要となり、また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上（12学級以上）あることが望ましいものと考えられます。また、中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。ちなみに、「地域の実態・特別の事情」という視点では、本町5中学校における今年度の学級数は、すべての学校、すべての学年で単学級となっており、また、知多管内の中学校を生徒数で比較してみると、37校中、下から5校が南知多町の中学校となっています。</p> <p>先ほど、今後も人口減少が続くものと見込まれ、税収が減り続け、今の教育が維持できなくなるおそれがある旨説明させていただきました。平成28年度地方教育費調査集計結果により、学校教育に係る費用、とりわけ「消費的支出」、つまり学校教育費のうち、原則として年々経常的に支出する経費で、年度によって変動の大きい土地・建物などの資本的支出などを除いた費用で比較してみますと、特に中学生1人当りの費用は、知多管内の他町や愛知県全体数値と比較しても約2倍の費用となっています。これは、学校規模が小さい、つまり、生徒数に対し、中学校の数が多く、1学級当たりの生徒数が少ないことが主な要因になっていると考えられ、先ほど説明させていただいたように、今後、少子化が更に進むことが予想される中、1人当りの費用負担は</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>より重くなっていくものと懸念しています。</p> <p>こうした背景の中、教育水準の維持・向上の観点を踏まえ、学校規模の適正化や学校の小規模化に伴う諸問題への対応が将来にわたって継続的に検討していかなければならない重要な課題と捉えています。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>只今、事務局から説明があった小中学校の適正規模・適正配置について、ご質問や意見交換をお願いします。</p>
日比教育委員	<p>本町の中学校における免許外指導の状況はどうか。</p>
事務局 (蟹江指導主事)	<p>「技術」の教科は、師崎中学校以外はいわゆる臨時免許で対応しています。その他、本務教員で免許を持ち合わせていない教科については、免許のある講師により対応しています。</p>
日比教育委員	<p>国語・社会・数学・理科・英語といった5教科については、各校本務教員が配属されているのかもしれませんが、その他の教科での本務教員の配置状況を教えてください。</p>
事務局 (蟹江指導主事)	<p>先ほどご説明した技術以外で、例えば、美術の本務教員は豊浜中学校だけの配置、音楽は師崎中学校と篠島中学校への配置、家庭科は本務教員が配置されていません。ただ、体育科についてはすべての中学校に本務教員が配置されています。</p>
石黒町長	<p>先ほど「望ましい学級数の考え方」において、「1学年2学級以上」とする理由のひとつとして、小学校では「学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成するため」、中学校では「学級を超えた集団編成を可能とするため」と説明していただきましたが、この点、もう少し具体的に説明してください。</p>
事務局 (蟹江指導主事)	<p>例えば2学級以上あれば、学級を解体して習熟度別指導などいろいろな指導形態がとりやすくなり、学習効果が上がりやすくなります。また、教科の学習以外にも、総合的な学習や調べ学習で同じテーマをもって取り組む児童生徒を学級を解体して編成することで、お互いに教えあい、学びあう集団にして効果を上げるということです。</p> <p>小規模の学校ですと、集団を構成するメンバーがいつも同じですので、互いを学習刺激することが少なくなりがちになります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
日比教育委員	<p>また、学級を超えた集団編成とすることで、中学校では、例えば、音楽科の合唱の際、音域での編成が可能となるなど、その効果が期待されるところです。</p> <p>確かに、単学級だと、教員個人の力量に授業が左右されるしかないので、複数のクラスがあれば、複数の教員が配置されるわけで、習熟度別指導だけでなく、ティーム・ティーチングや専科指導などいろいろな指導が可能となりますよね。</p>
石黒町長	<p>ここで確認をしておきたいのですが、先ほど「望ましい学級数」の考え方について、文部科学省の手引きを引用との説明がありました。これは、南知多町教育委員会として、国と同じ目線で提案しているという理解でよろしいのでしょうか。</p>
事務局（内田）	<p>先ほど説明させていただいたとおり、法令上、学校規模の標準は、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」とされていますが、「特別の事情のあるときはこの限りでない」という弾力的な規定となっています。</p> <p>南知多町の小中学校の適正規模・適正配置に係る検討を進めるため、学級数や教職員数が少ないことによる学校運営上の課題、その課題が児童生徒に与える影響、そして、それを踏まえての「望ましい学級数」はどうかを考えるにあたり、文部科学省の手引きを参考としているのは事実です。</p> <p>加えて、本町の1学級当たりの児童生徒数や学校全体の児童生徒数、それらの将来推計も合わせて、現実的に可能な範囲の学級数であったこともあり、南知多町教育委員会としての「望ましい学級数」として定め、この考え方をもとに、今後、検討を進めてはどうかという提案です。</p>
坂口教育委員	<p>ご承知の通り、今の離島の中学校の現状は、半島側の中学校と統合しない限り、「1学年2学級」は無理な状況となっています。</p> <p>個人的な意見として発言させていただきますが、離島を含めた中学校の統合については、今すぐには非常に困難だと捉えています。</p> <p>したがって、当面は、離島の小学校と中学校の連携を一層強化し、地域の協力も得て、少人数を生かした指導を充実させていく必要があると考えています。</p> <p>半島側の中学校との統合は、船での通学の安全性の確保という観点</p>

発 言 者	発 言 内 容
日比教育委員	<p>などから課題が大きすぎるし、半島側の中学校の統合だけでも、意見をまとめようとするとは非常に困難な課題だと捉えています。</p> <p>個人的には、まずは複式学級を回避するため、大井小学校と師崎小学校の統合、そして、中学校の課題を少しでも前へ進めるため、例えば豊浜中学校と師崎中学校の統合などを進めていってはどうかと考えています。</p> <p>確かに学校統合は進めるべき課題ではありますが、町には、ぜひとも人口が増える施策をどんどん取り組んでいただき、こうした課題や影響を少なくする努力をしていってください。</p> <p>先ほども説明があった生徒1人当たりの学校教育費については、南知多町は中学校の数が多いから費用がたくさん必要ということは、随分前から言われてきたことで、統合すれば、当然、費用は節約でき、その分、老朽化した学校施設の整備費やタブレットパソコンをはじめ、ICT教材の購入費など、施設設備の充実が図れるのだと思います。そうしないと、結局、他市町で取り組まれている教育環境が、本町では提供できないということになってしまうのではないかと、また、学校という教育の場に、子どもたちがたくさん集まっているからできることが、南知多町の学校ではできなくなってしまうのではないかと心配です。やはり、学校統合は、少しでも早くすべきと思っています。</p>
大岩教育委員	<p>議題として「学校の適正規模・適正配置について」というよりも、「1中基本構想」の取り扱いをどうかという視点での議論の方が理解しやすいように思えるのですが。</p>
事務局 (内田)	<p>その点については、本日、踏み込んで具体的に資料提供までしていません。町教育委員会としては、平成18年2月、「中学校は全校を統合して、1校を設立する」という「学校統廃合の基本構想」を策定していますが、今後、保護者等の意見を踏まえたうえで、基本構想の見直しも含め検討を進めたいと考えています。</p> <p>しかし、子どもたちが置かれている現在の課題、そして、今後、想定される教育環境といったことに対し保護者と共通理解を図ったうえで、教育条件の改善に向け、保護者の方の意見を聞いていくことが大切です。そして、その前段として、町教育委員会としてどういった青写真を描いているのかということを押さえておく必要があるため、まずは、本日、取り上げた「望ましい学級数」への共通理解を図りたいと考えています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>ここで、本日、協議・調整しておきたい事項について整理しておきたいのですが、学校規模の適正化を検討するにあたり、まず、学校規模の標準は、学校教育法施行規則第41条及び第79条により、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」とされているものの、「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」というように弾力的なものとなっていることに留意することが必要です。加えて、文部科学省の「学校統廃合の手引き」には、「望ましい学級数の考え方」として、「小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要、中学校では、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要」とあり、これを南知多町教育委員会としての必須の条件とするのかどうかということ。</p> <p>そして、先ほど事務局から言及のあった「学校統廃合基本構想の見直しを含めた検討」ということですが、南知多町の将来の子どもたちの推定人数からみても、ここで基本構想の見直しを検討しないといけないうのかということについては、私は疑問です。</p> <p>南知多町として、「望ましい学級数」を確保していくために基本構想は堅持し、学校統合により学校規模の適正化を図る。そして、そのベースにたって、離島の通学手段など地域事情への対応をどうするのか。子どもたちの教育条件の改善に向けた「めざす姿」について、私どもで合意・共有を図り、そのうえで、それに必要となる財源をどう確保していくのかということが、総合教育会議に課せられたテーマだと認識しています。ただ、このことについては重要なことなので、本日、合意を図れなくてもやむを得ないと考えていますが。</p>
坂口教育委員	<p>基本構想としては「1中」であるものの、「地域事情・特別の事情」をくみ取る要素があるということであれば理解できます。</p>
折戸教育委員	<p>個人的な意見として、現時点において、離島の子どもたちが船に乗って半島側の中学校に通うということは、保護者の方に受け入れられる環境にないと捉えています。また、離島に対し、「特別の事情」といった例外扱いでの対応についても、少し違和感があります。</p>
池戸教育委員	<p>そうしたことも含め、今後、保護者の方のご意見をお伺いして対応を考えていこうということだと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
折戸教育委員	<p>離島の保護者へのアンケート調査内容については、少し配慮が必要だと思えます。離島、特に篠島の場合、かなりの割合で中学校の統合に反対の保護者が多いものと捉えています。そうした保護者に対し、中学校統合に向けた質問ばかりするのはどうかと思えます。</p>
事務局 (内田)	<p>確かに、「小規模校を存続させる場合への対応」として、南知多町内の学校間で教育の水準に大きな格差ができないよう、小規模校であることのメリットを最大化する方策、具体的な取組について、どんな指導を充実させる必要があるのかなどといった視点で質問することは意義あることだと思えます。</p>
石黒町長	<p>今後、少子化が更に進むことが予想される中、教育委員会が、義務教育の水準の維持・向上の観点を踏まえ、学校規模の適正化を図るため、「望ましい学級数」を定めた場合、基本的に、南知多町内の子どもたちには、皆同じ条件で教育が受けられるべく教育委員会がそれに向かって議論をし、方向性を示すべきだと考えています。</p> <p>そして、その実現のために必要となる教育予算を確保し、執行していくのは私・町長であり、それを管理運営していくのは、皆さん方、教育委員会であり、そうした役割分担をしながら進めるにあたって、執行機関同士の協議・調整の場として、この総合教育会議があると認識しています。</p> <p>先ほども申し上げましたが、南知多町の将来の子どもたちの推定人数からみても、ここで「1中」という基本構想を見直すのではなく、「1中」が可能となるまでの対応として、教育水準に格差ができないよう、どういった指導を充実させる必要があるか、一緒に考えてまいりたいと思っています。</p> <p>しかし、教育委員会がそうではない、「3中」だと言われるのであれば、「3中」を前提に財政計画を立てていく必要が出てくるので、その点、しっかり議論を深めていただきたい。</p> <p>ここで、企画部長の意見をお願いします。</p>
田中企画部長	<p>学校統合を進めれば、町の財政的には楽になると考えています。</p> <p>私からは、学校教育費のうち経常経費ではなく、施設管理の費用の面から説明させていただきます。</p> <p>例えば、町内の小中学校 11 校の校舎のうち、平成 19 年に建て替えた豊浜小学校の北校舎を除いて、すべて昭和 30 年代から 50 年代に建</p>

発 言 者	発 言 内 容
池戸教育委員	<p>築されていて、築後 40 年から 50 年近く経過した古い建物ばかりで、近い将来、長寿命化を図るべく大規模な改修、あるいは建て替え工事が必要となっている現状があります。</p> <p>しかし、南知多町の財政力を前提にしたとき、この 11 校を全部改修することは不可能だと捉えていまして、子どもたちへの安全・安心の提供といった視点からも学校統合は必要だと考えています。</p> <p>私の意見をということですので、個人的な意見として発言させていただきますと、先ほどから学校の適正規模、学校統合の視点から、学級数や人数について議論していただきましたが、ただ、それだけが望ましい学校の要素かというところではないと思っています。</p> <p>篠島や日間賀島のように、小規模校であっても、地域との連携、地域の方が学校教育に大きくかかわっていただいていたたり、逆に、学校が地域コミュニティの存続に大きな役割を果たしていたりする側面もあって、保護者や地域の方が、将来にわたり「地域の学校」として残すべきだというお考えであれば、それはそれで尊重すべきだと考えています。そして、そのために、説明会を開催し、アンケート調査などで保護者の意見をくみ取ることができるのであれば、意義あることだと思います。</p> <p>先ほど、本町の財政力から施設の更新は困難だといった趣旨の説明をしましたが、このように、両島の保護者や地域の方が、将来にわたり「地域の学校」として残すべきだというお考え、島に学校があるということが子どもたちの教育の質を高めるということであれば、例えば、小中一貫教育だとか、小中連携の強化とか、今後のやり方は別に検討の余地があるように思えるのですが。</p> <p>説明会を開催し保護者の意見を聞くということですので、始めから「1 中」というのでは、選択肢のない中で、統合のためのアンケート調査になってしまい、保護者の理解を得るのは困難だと思います。</p> <p>只今の説明で、既設の学校校舎を利用する場合でも長寿命化のため大規模改修が必要というのであれば、統合中学校のための新しい校舎を建設してもらいたいと思いますが。</p>
石黒町長	<p>中学校を統合するにあたり、新しい校舎を建設するのか、既設の学校校舎を利用するかについては、工事費やライフライン関連費用などを比較して財政計画を立てる必要があるので、そうした業務について、今後、予算化していく必要があると考えています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>折戸教育委員</p> <p>事務局 (内田)</p>	<p>私は先ほど個人的な意見を言わせてもらいましたが、平成 18 年において当時の教育委員会が議論の末、「1 中」と決められたのですから、そのことは尊重したいと思います。</p> <p>「1 中」と決めたのは町教育委員会ですから、それを尊重するということは当然のことだと思いますが、現時点で、教育委員会の総意が「3 中」に変更すべきだということなら見直せばいいのではないかとも思っています。</p> <p>ただその前に、現状と今後の見込み、そしてその見込みが子どもたちの教育に与えるであろう影響について、ちゃんと保護者に説明し、理解していただいたうえで、保護者の意向を聞いて把握しておくことが必要だと思います。</p> <p>推計シミュレーションとはいえ、かなりの確率でこれに近い人口になってしまうことが考えられますし、そうならないよう町民との協働で行政が努力するのですが、それはそれとして、そうなることを前提に準備しておくことも大切なことです。</p> <p>例えば、篠島地区の年少人口のシミュレーションから 1 学年当たりの子どもの数を按分すると、2030 年は 6 人、2040 年は 5 人、2050 年は 4 人、2060 年は 3 人と減っていくこととなることが推計されており、確かに折戸委員が言われるとおり、船に乗って半島側の中学校に通うということに対して、保護者の方には大変なご心配をかけることになるかと理解していますが、では具体的にどうしていくのかということを考えていかななくてはならない。そして、その結果が「1 中」であり、また、「3 中」となるのではないかと思います。</p>
<p>折戸教育委員</p>	<p>その点は私も同感で、基本的には篠島の子どもたちにもたくさんの友達の中で学習できる環境を提供したいと考えていますし、何が何でも統合反対と言っているわけではありません。ただ、船という交通手段、例えば強風等悪天候時に、恐怖を感じながら船で通学をするといったことは、子どもにとっても保護者にとっても受け入れがたい環境であり、町がスクールボートを出せば解決するという問題ではないと捉えています。</p>
<p>池戸教育委員</p>	<p>今、ほぼどの学校においても 1 学年 1 学級となっていますが、これを複数学級にすれば、学年で担任が複数になり、学年で担任同士が切磋琢磨できるなど指導力向上につながれるのだと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>特に中学校では、全ての授業で教科担任による学習指導を受けさせてあげたいと考えていますが、ただ、今の南知多町で20人学級にして、その分、町で教員を雇うことは財政的にも困難かもしれませんが。その点はいかがでしょうか。</p> <p>私も、子どもたちのために理想的な環境を提供したいという思いは強いのですが、先ほども事務局から説明があったように、子どもたち1人当りの学校教育費が他市町と比較して、非常に多くの負担を町民の方をお願いしている現状において、そして、人口が減少し続けている中、できる限り人口減少を止める政策をとりつつ、支出を削減していかなければならない環境にあり、特別な場合を除き、義務教育において町が独自に教員を雇用していくことについては、ハードルが高いものと捉えています。</p>
日比教育委員	<p>「1中5小の基本構想」を前提に、保護者への説明会やアンケート調査を実施するのではなくて、いろいろな選択肢を提案しながら、保護者の意見を聞くというのはいかがでしょうか。</p> <p>今日の話し合いを通じ、「望ましい学級数」など、求めるものとその理由を押さえておくのは大切なことですが、それさえ確保すればよい学校になるのか、逆に、「望ましい学級数」を満たせないと学校としてどうかということになってしまうのか、両島の学校のように、「地域の学校」として、特色のある教育ができるということであるのなら、それはそれでよいのではないかと思います。</p>
石黒町長	<p>いずれにしろ、もう少し教育委員会において方針等固めていただいたうえで、再度、この町総合教育会議において、私ども町長部局との協議・調整を図らせていただきたいと思います。</p> <p>本日の会議では、「1中」「3中」の議論が多かったわけですが、子どもたちの教育のためにどういった方針がよいのかということで、「望ましい学級数」について話し合っていました。</p> <p>今後、教育委員会の方で、この「望ましい学級数」の理由、根拠などについて協議をし決めていただけないと、私ども町長部局は動けないということをご理解いただきたい。</p> <p>また、教育委員会での協議にあたり、企画部長から説明させていただきましたように、11校の全部を改修することは財政的に厳しいこともひとつの要素であることを踏まえていただけるとありがたいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長)	<p>教育委員会事務局としては、今後、「1中5小の基本構想」の取扱いについて、直ちに決めてしまうのではなくて、まずは、「望ましい学級数」など、基本的な方針について共通認識を図ったうえで、説明会やアンケート調査により保護者の意向を把握し、そのうえで、その後の対応・方針を検討してまいりたいと考えています。</p>
石黒町長	<p>本日、協議・調整しておきたい事項としては、小中学校の適正規模・適正配置に係る方針協議と課題の共有でした。</p> <p>学校統廃合の基本構想の今後の取扱いについても意見交換をさせていただきましたが、まずは、教育委員会の方で、子どもたちの教育条件の改善のために、「望ましい学級数」の理由、根拠なども含めて協議を重ねていただくことの共通認識を図ったということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
石黒町長	<p>異議なしの声をいただきましたので、今後の協議方、よろしく願います。</p>
石黒町長	<p>次に「(3) 新学校給食センター整備基本計画(案)について」、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>(新学校給食センター整備基本計画(案)について説明。以下その要旨)</p> <p>教育委員会では、子どもたちにより安全で高品質な給食を安定的に提供していくために、町単独での施設更新が必要不可欠であることを前提として「南知多町学校給食センター整備基本構想」を平成29年9月に策定いたしました。</p> <p>この基本構想の基本方針を軸として、学校給食センターの建設にあたり、「用地選定」「想定食数」「配送計画」「施設整備手法」といった課題について、「南知多町新学校給食センター建設検討委員会」において、計4回の検討を重ねてきましたが、今後の基本設計・実施設計、建設及び稼働までの一連の事業が進められるよう、基本計画を策定するものであります。</p> <p>まず、新しい学校給食センター整備にあたり、「安全・安心な給食の提供」「良好な作業環境」「環境にやさしい施設計画」「食育」という4つの項目を、「基本方針」として設定し、実現を目指します。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>次に「施設整備基本計画」においては、「1. 用地選定に関する検討」を行いました。まず、新学校給食センターの用地については、「配送条件」「建築基準法等法律上の主な制約条件」「土地の形状等」「インフラの状況」「環境条件等」などにより複数の建設候補地を比較検討し、最終的な建設候補地として、「豊丘むくろじ会館の自由広場及び旧豊浦保育所」を選定しました。</p> <p>次に「2. 食数の設定」としては、平成33年度の新施設稼働目標時における給食提供見込数は、教職員等に提供する食数を含め、約1,200食を基本的な食数として設定し、加えて、南知多町においては、その規模に対して、離島へのフェリー配送や短縮授業等学校行事に伴う給食時間の変更に対応した調理作業工程の変更（早出し）等、特殊条件が多く、調理・配送スケジュールが複雑化していることから、無理なく供給できる適切な食数の設定となるよう300食程度の余裕食数を見込んだ1,500食を、給食センターの最大調理能力として設定します。</p> <p>「3. 施設の規模」については、今回想定している1,500食の食数に対して、約1,000㎡の建築面積、2,900㎡以上の敷地面積が必要となります。</p> <p>次に「4. 基本的な機能」としては、まず、ドライシステムを導入することにより、床面からの跳ね水による食材への二次感染の防止が図られるなど、食中毒の発生要因を少なくすることで、衛生管理が徹底された設備環境で作業を行えるようにするとともに、ハサップの概念を取り入れ、食材など物の流れと調理員の流れについて、明確かつ厳密な管理区分を設けることとします。また、調理場動線は、汚染作業区域と調理室など非汚染作業区域を明確に区画・区分するなど、安全衛生管理が徹底できる施設とします。</p> <p>「7. その他の機能」についての説明です。まず、「食物アレルギーへの対応」については、基本は安全性を考慮し、専用室を設けて対応することとします。また、「食育機能」については、学校給食施設も教育施設としての機能として、研修のできる会議室や展示スペースを設け、給食調理の様子や展示を通じて食育の拠点として活用します。</p> <p>「廃棄物処理」としては、給食センターから排出される食品残渣や給食の食べ残し等ごみの減量化が求められている中、ごみ処理機の導入や処理方法の見直し等を検討していきます。「災害時対応」としては、給食センターの本来機能である「児童生徒への日々の給食提供のための施設」と位置付け、その食の安全性の確保や早期に給食再開ができるよう災害に強い施設整備をするものとして検討していきます。</p> <p>次に「整備手法」については、従来方式と民活手法が考えられ、各</p>

発 言 者	発 言 内 容
大森教育長	<p>手法のメリット・デメリットを比較検討した結果、従来方式を優先すべきと考えますが、今後、コスト削減が可能なら、外部委託方式による運営も視野に入れることとします。</p> <p>また、今後の「事業スケジュール」については、今年度、基本設計を、来年度は実施設計業務を委託、平成32年度に建設工事を発注し、平成33年度9月の稼働開始を目標に進めてまいります。</p> <p>今後、この基本計画（案）について、町議会に説明させていただくとともに、施設用地は町有地であるものの、地元関係区へも説明し、ご理解とご協力をいただきたいと思いますと考えています。</p>
石黒町長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>それでは、新学校給食センター整備基本計画（案）に関連して、ご質問、ご要望等がありましたらお伺いします。</p> <p>(質問なし)</p>
石黒町長	<p>ご要望等も特にないようですので、新学校給食センター整備基本計画（案）については、今後、町議会及び地元関係区への説明、パブリックコメントを経て、教育委員会において議決していただき、計画決定させていただくということで、ご異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
石黒町長	<p>異議なしの声をいただきましたので、「新学校給食センター整備基本計画（案）について」は、総合教育会議で協議・調整された事項として進めさせていただきます。</p>
石黒町長	<p>それでは、以上で本日の予定はすべて終了いたしました。</p> <p>これもちまして、平成30年度第1回南知多町総合教育会議を閉会させていただきます。ご協力、ありがとうございました。</p>